第４章　実施計画（延長４か年）について

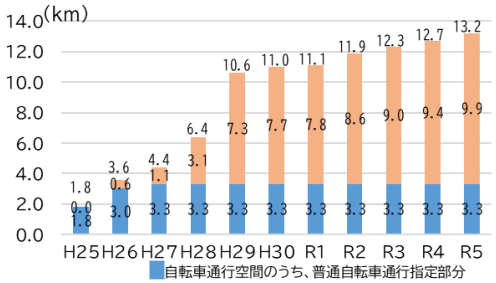
４．１　基本目標１「だれもが安全・安心・快適に移動できる交通環境の創出」

■ 基本戦略１―①　安全・安心な交通空間の維持・整備

実施施策１―①―１　自転車通行空間の整備

「伊丹市自転車活用推進計画」に基づき、自転車通行空間（自転車レーン等）の整備を推進し、自転車、歩行者双方の安全性向上を図ります。

【自転車通行空間の整備推移】







実施施策１―①―２　歩行者通行空間の整備

ユニバーサルデザインの視点による歩道の平坦化や点字ブロックの設置等により、誰もが安全で歩きやすい歩行者空間の整備を推進します。また、「伊丹市街路樹管理計画」に基づき、大木化・老木化した街路樹の更新・再整備を実施し、安全な歩行者通行空間を確保します。

【ユニバーサルデザインの視点による歩道の整備】





【歩行者空間の街路樹整備】





実施施策１―①―３　都市計画道路の整備

「都市計画道路整備プログラム」に基づき、計画的かつ効率的な道路整備を推進します。

【都市計画道路プログラムに基づく道路整備】





実施施策１―①―４　道路構造物の計画的な保全

「伊丹市道路インフラ長寿命化修繕計画」に基づき、計画的な維持修繕及び耐震化を推進します。







■ 基本戦略１―②　交通安全対策の推進

実施施策１ー②ー１　交通安全対策の推進

交通安全教室や街頭啓発に加え、ＳＮＳ等を活用した情報発信を行い、交通ルールの順守、交通マナー向上など、交通安全意識の高揚を図ります。





実施施策１―②―２　道路安全対策の推進

「伊丹市通学路安全対策推進会議」の開催など関係機関と連携し、継続的に通学路の安全確保に向けた取組を行います。また、転落防止柵等の新設・更新や注意喚起看板等の設置を行い、安全確保を図ります。





■ 基本戦略１―③　子育て世代、高齢者等への移動支援の推進

実施施策１―③―１　子育て世帯等への移動支援の推進

妊産婦や子育て世帯等への移動支援や環境整備を行い、安心して移動できる交通環境の創出に取り組みます。





実施施策１―③―２　高齢者等への移動支援の推進

高齢者や障がい者等への移動支援や環境整備を行い、社会参加を促進します。

【市バス特別乗車証】



【タクシー利用券】



【ほじょ犬マークを設置したトイレ】



■ 基本戦略１―④　環境に配慮した交通まちづくり

実施施策１―④―１　環境負荷の少ない道路整備の推進

道路整備において、環境負荷の少ない工法や、環境に配慮した舗装（低騒音・排水性・透水性・遮熱性等）の採用に加え、「伊丹市街路樹管理計画」に基づき、街路樹の効果的な維持管理を行います。





実施施策１―④―２　スマートムーブの推進

低公害車の普及等、環境に配慮した取り組みを推進します。また、環境にやさしい通勤手段(徒歩や自転車、公共交通機関等)の普及促進策を検討します。

【スマートムーブ】

「移動」を「エコ」に。
smart move



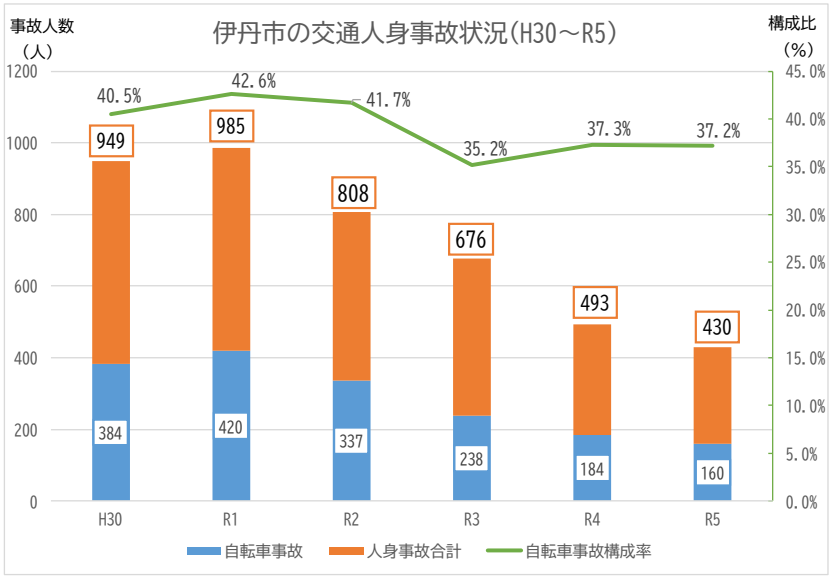
【エコ通勤優良事業所認証登録証】



■ TOPIX　交通安全対策の推進

・令和６年１１月１日施行の改正道路交通法では、スマートフォンを見ながらの自転車の運転や酒気帯び運転に対する厳しい罰則規定が設けられました。これは、自転車運転中の携帯電話使用等に起因する交通事故が増加傾向であること及び自転車を酒気帯び状態で運転した際の交通事故が死亡・重傷事故となる場合が高いことを踏まえたもので、今後、自転車運転の違反行為に対して青切符による取締りの導入を進める動きがあるなど、国を挙げて交通安全対策の推進が進められています。

・本市では、伊丹警察署や関係機関・団体と連携しながら市民が交通安全に関心をもてるよう、対象者に応じた交通安全教室の開催や事故多発地点での街頭啓発活動などの交通安全活動について継続して取り組んできました。これらの活動の結果、令和元年と比較して、事故件数や負傷者数が大きく減少しました。また、その取り組みが評価され、令和６年度に内閣府の「交通安全功労者表彰」を受賞するに至りました。







（出典）内閣府「令和６年度　交通安全者表彰」

４．２　基本目標２「交流を支える持続可能な公共交通の維持･確保」

■ 基本戦略２―①　公共交通基盤の強化

実施施策２―①―１　交通需要に応じた公共交通サービスの提供

公共交通事業者をはじめとする様々な関係者が有する交通に関連するデータを相互に共有･活用し、走行環境や交通需要に応じた、持続可能な路線･ダイヤの編成を行います。また、ＡＩオンデマンドバスやライドシェア等、地域の輸送資源の活用について調査･研究を行います。

【ＡＩオンデマンド　イメージ図】



実施施策２―①―２　運転士等の人材確保対策の推進

県･市･交通事業者等が連携し、路線バスの運転士等の担い手確保に向けた取り組みを推進します。また、運転士不足の課題に対応する手段の一つとして期待される「自動運転技術」をはじめとする交通ＤＸについて、調査･研究を行います。

【合同就職説明会の開催】



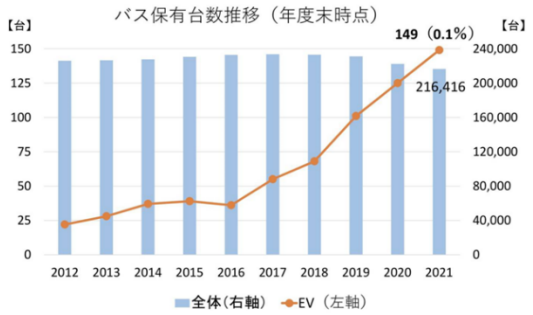
【自動運転イメージ写真】
三田市実証実験



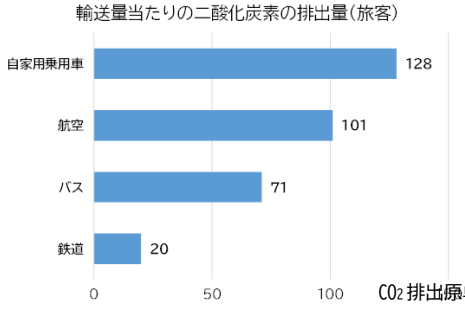
実施施策２―①―３　グリーン経営･ＧＸ(グリーン･トランスフォーメーション)の推進

「エコドライブの推進」や「低公害車の導入」等、公共交通事業者のグリーン経営に取り組みます。また、公共交通分野でのＧＸ(グリーントランスフォーメーション)の取り組みを推進します。

【ＥＶバス保有台数の推移】



【輸送量当たりの二酸化炭素排出量】



■ 基本戦略２―②　公共交通の利用促進

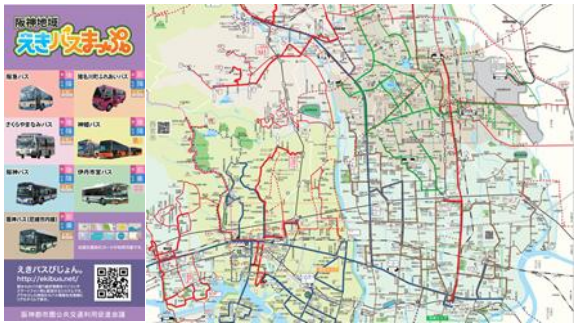
実施施策２―②―１　子ども・子育て世帯などに対する幅広い利用促進

交通安全啓発イベントや小学校での講座、企画乗車券やオリジナルグッズの制作・販売などを通して、公共交通利用に関する啓発を行います。また、公共交通への関心を高め利用促進につながるよう、路線情報などについて幅広く情報発信を行います。

【伊丹市　いたみっ子お出かけパス】



【阪神地域えきバスまっぷ。】



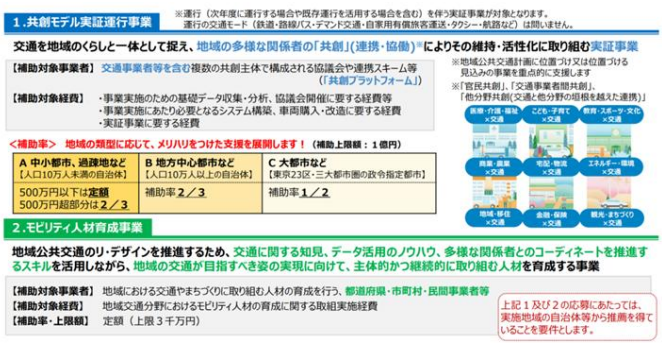
実施施策２―②―２　多様な主体の連携・協働による公共交通の利用促進

商業施設・交通事業者等と連携した提携店舗・施設での割引サービス等に加え、イベント等との連携による効果的な情報発信などを通じた、公共交通の利用促進に取り組みます。また、地域の多様な関係者との「共創」による地域交通の維持・活性化に向けた全国各地の取組について調査・研究を行います。

【移動生活ナビアプリＷＥＳＴＥＲ（ＪＲ西日本）】



【令和６年度共創・ＭａａＳ実証プロジェクト】



■ 基本戦略２―③　公共交通の利用環境向上

実施施策２―③―１　駅構内やバス停における待合環境の整備

鉄道利用者の安全性の確保のため、鉄道駅におけるホーム柵の設置等の安全対策を推進します。また、バス利用者の利用環境の向上を図るため、標柱や上屋・ベンチの更新・設置を行います。

【ホーム固定柵の設置】





【バス停における上屋・ベンチ設置】



実施施策２―③―２　乗り換え情報･運行情報等の分かりやすい情報発信

高齢者や障がい者、外国人、来街者等、誰にでもわかりやすい情報提供の充実を図ります。また、公共交通等の複数の移動サービスや交通以外のサービス等との連携が可能なＭａａＳ等のデジタル技術の活用を推進します。

【阪急伊丹駅前　デジタルサイネージ】



【ＫＡＮＳＡＩＭａａＳアプリ】



【スルッとＱＲｔｔｏ】

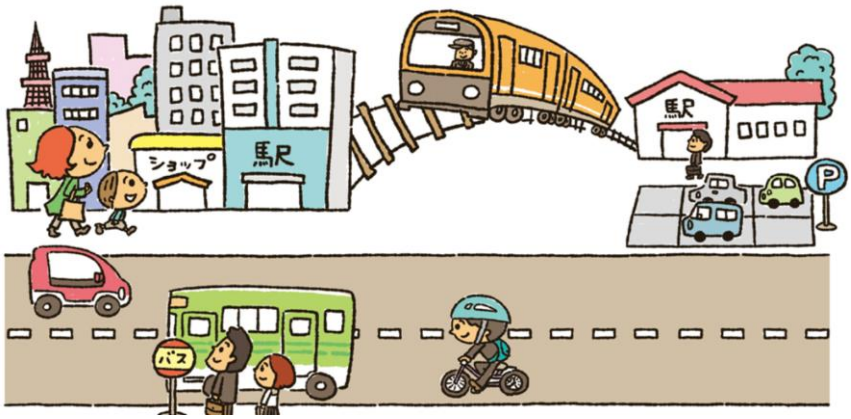


■ TOPIX　モビリティ・マネジメント

・モビリティ・マネジメント(Mobility Management，略称 MM)とは、「渋滞や環境、あるいは個人の健康等の問題に配慮して、過度に自動車に頼る状態から公共交通や自転車などを『かしこく』使う方向へと自発的に転換することを促す、一般の人々や様々な組織・地域を対象としたコミュニケーションを中心とした持続的な一連の取り組み（日本モビリティ・マネジメント会議）」のことを意味します。

・　伊丹市においても、モビリティ・マネジメントは、持続可能な公共交通の維持・確保につながる重要な取組と位置づけており、特に次世代の公共交通の利用者増加を目的とした取組として、交通事業者と連携した小学生向けの企画乗車券の販売や市内公立高校での出前講座などを実施します。

＜モビリティ・マネジメントのイメージ＞



（出典）政府広報オンライン「毎日の「移動」を「エコ」に！　smart move に取り組んでみませんか？

４．３　基本目標３「地域資源を活用した交通まちづくり」

■ 基本戦略３―①　空港を活かしたまちづくり

実施施策３－①－１　空港の利便性向上・利用促進

関係機関に国際便や長距離国内便の規制緩和などの要望を行い、大阪国際空港（伊丹空港）の利便性の向上を図ります。また、本市の重要な資源の一つである「空港」の利用を促進し、空港利用客の中心市街地への誘客･回遊性向上を図ります。

イベント【大阪国際空港 雪まつり】





イベント【大型商業施設での就航都市フェア】



実施施策３－①－２　空港へのアクセス確保

ＪＲ伊丹駅･阪急伊丹駅と大阪国際空港（伊丹空港）を結ぶ路線バスを運行し、空港へのアクセス性を確保します。また、兵庫県などの関係機関と連携しながら、当該バスの利用を促進します。

【伊丹市内を運行しているラッピングバス】





イベント【大阪国際空港 空の日】



【空港アクセスバスＰＲチラシ】



■ 基本戦略３―②　中心市街地の回遊性・魅力の向上

実施施策３－②－１　回遊性を高める移動手段の充実

市民や来街者の移動の利便性や回遊性を高めるため、シェアリングサービスなどの公共交通を補完する移動･交通手段を調査･研究します。

【尼崎市　シェアサイクル事業】





【ＪＲ伊丹駅前駐車場　カーシェアリング】



実施施策３－②－２　駐車場･自転車駐車場の計画的な保全および放置自転車等への対策推進

駐車場･自転車駐車場の快適な利用環境の確保と機能維持のため、計画的な維持管理と改修を推進します。また、放置自転車等への対策(撤去、駐輪指導員による指導･啓発等)により、快適な都市空間を維持します。

【船原自転車駐車場　シャッター更新工事】



【放置自転車等撤去の様子】



■ TOPIX　次世代モビリティ

・環境省や国土交通省が推進する次世代モビリティは、小型・低速・電動といった特徴を持ち、環境負荷の低減やエネルギー効率の向上につながるだけでなく、公共交通を補完し、都市の回遊性向上を高める可能性のあるラストワンマイルの移動手段として注目されています。

・伊丹市においても、電動キックボードや自動配送ロボットなど、次世代モビリティが地域にもたらす効果について、先進事例の研究を進めます。

【電動キックボード】



【自動配送ロボット】



（出典）内閣府「多様な交通主体の交通ルール等の在り方に関する有識者検討会」

４．４　評価指標

基本理念と基本目標に基づき効果的な施策を展開するため、伊丹市総合交通計画では基本目標単位で「評価指標」を設定します。また、評価指標は、指標毎に目標値を設定し、毎年のモニタリングを通じて進捗状況を確認し、達成度を評価します。

基本目標１　評価指標

評価指標	性質	基準年度 R5年度	目標年度 R10年度	指標の説明
自転車レーン等整備区間延長(km) ※普通自転車通行指定部分有りを除く	↑	9.5	12.2	自転車レーン等の整備済区間キロ数
交通安全教室の参加者数(人/年)	↑	4,779	4,875	地域・学校(小・中学校を除く)・事業所などを対象に市が行う交通安全啓発の年間参加者数
年間の自転車関連事故件数(件)	↓	8.1	7.7	年間自転車関連事故件数/人口(各年1月1日現在)×10,000(人口1万人あたり)
年間の交通事故発生件数(件)	↓	21.8	21.4	年間事故発生件数/人口(各年1月1日現在)×10,000(人口1万人あたり)
歩道(街路樹)再整備延長(km)	↑	1.5	5.6	街路樹の更新・再整備等を実施した道路キロ数
都市計画道路事業進捗率(%)	↑	89.0	89.4	「都市計画道路整備プログラム」(伊丹市)の計画値に対する道路事業進捗率
モビリティ・マネジメント等実施件数(件)	↑	19	24	市内イベント、学校園等での公共交通事業者等によるモビリティ・マネジメント(利用促進・移動支援講座等)の実施件数
市バス特別乗車証の交付率(%) ※満70歳以上の高齢者を対象として交付したものに限る	↑	68.9	75.4	満70歳以上の人口に占める市バス特別乗車証※の交付人数の割合 【基準年度の実績値は、令和5年度末時点で更新手続きを行った方の割合で算出】

基本目標２　評価指標

評価指標	性質	基準年度 R5年度	目標年度 R10年度	指標の説明
市バス年間輸送人員(万人/年)	↑	931	957	乗降カメラセンサーによる年間総輸送人員 (基準年度の数値1,321→931に変更※)
市バス1キロ当たりの輸送人員 (人/総運行距離数)	↑	3.76	4.03	市バスにおける1キロ当たりの乗降カメラセンサーによる年間総輸送人員 (基準年度の数値5.34→3.76に変更※)
市バス利用者満足度(%)	↑	82.1	85.0	市バス巡回モニター調査の調査項目別集計のうち、「どちらかといえば良い」、「良い」、「とても良い」と回答した人の割合
1日の鉄道乗降客数(人)	↑	95,225	103,200	伊丹市内の鉄道駅における乗降客数
モビリティ・マネジメント等実施件数(件)	↑	19	24	市内イベント、学校園等での公共交通事業者によるモビリティ・マネジメント(利用促進啓発・講座等)の実施件数

※「市バス年間輸送人員」、「市バス1キロ当たりの輸送人員」は、集計方法の変更に伴い、令和8年3月30日付で各数値を変更

基本目標３　評価指標

評価指標	性質	基準年度 R5年度	目標年度 R10年度	指標の説明
空港線バス乗降客数(千人/年)	↑	307	380	JR・阪急伊丹駅と大阪国際空港(伊丹空港)を結ぶ路線バスのバス停「大阪国際空港」の乗降カメラセンサーによる年間乗降客数 (基準年度の数値416→307に変更※)
中心市街地4エリアにおける1日あたりの流動人口(4エリア合計)(人)	↑	104,460	126,950	中心市街地4エリア(伊丹、宮ノ前、中央、西台)における1日あたりの流動人口合計
市営自転車駐車場利用台数(台/日) ※1日当たりの平均台数	↑	6,680	6,865	鉄道駅周辺の市営自転車駐車場の年間の利用台数(1日平均)
年間の駐車場利用台数(台/日) ※1日当たりの平均台数	↑	797	812	中心市街地駐車場及び伊丹市立文化会館駐車場の年間の 利用台数(1日平均)
放置自転車等台数(台/日) ※特定日における台数	↓	56	53	調査日における放置禁止区域内の放置自転車・原付の台数

※「空港線バス乗降客数」は、集計方法の変更に伴い、令和8年3月30日付で各数値を変更